

88HOUSE ORIGINAL PARTS

ジャンプスターター ITO-58800 保証書・取扱説明書

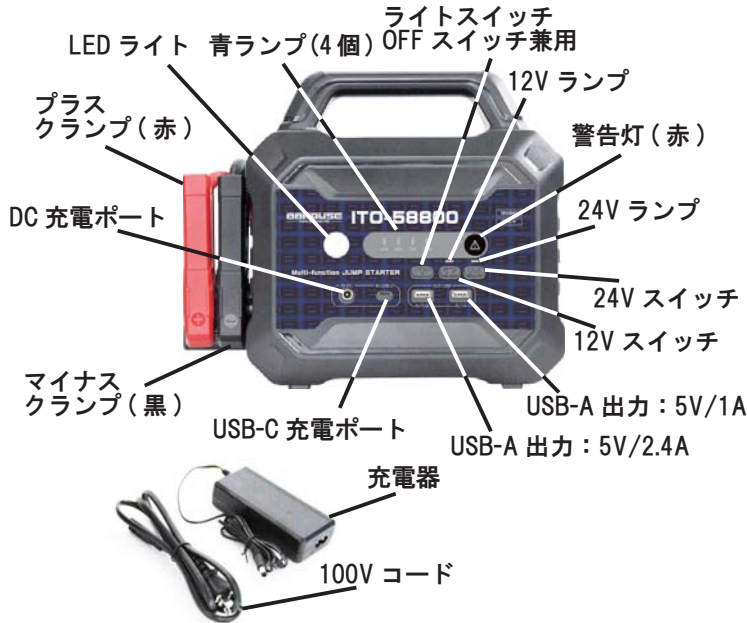
注意
保証を受ける時はこの取扱説明書兼保証書が必要になりますので大切に保管してください。保証書無き場合は一切の保証が受けられなくなるので、ご了承ください。

＜お客様へ＞
・ご使用前、安全に正しくお使いいただく為に必ず「取扱・取付説明書」をよくお読みになってください。
・お読みになられた後も、必ず必要になるときがありますので、「取扱・取付説明書」は大切に保管してください。

ご使用前に、ご確認ください！

- ・パッケージから出して最初にお使いになる時は満充電にしてから使用してください。
- ・高温環境下での保管、特に車内への放置は絶対に行わないでください。←裏面の危険をご覧ください！

各部の名称と構成品



電池の残量ランプについて

- 1) 本体のランプスイッチを押して青ランプを点灯させ電源を入れます。
- 2) 青ランプの数で電池の残量を確認する事が出来ます。
- 3) そのまま 30 秒経つと自然に電源が切れます。
- 4) ジャンプスタートは 50%以上で行なってください。

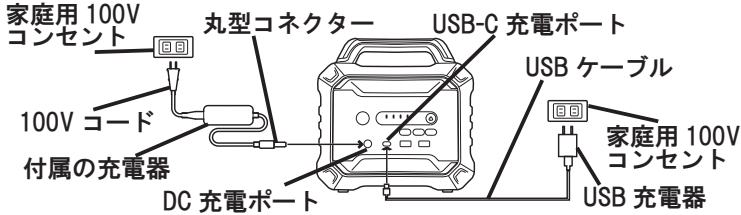
青ランプ	電池の残量
点灯無し	0%
4 個点滅	10%
1 個点灯	10% ～ 25%
2 個点灯	25% ～ 50%
3 個点灯	50% ～ 75%
4 個点灯	75% ～ 100%

本体の電源を強制的に OFF にする方法

- 本体の電源が ON になっているとき「ライトスイッチ」を 5 秒間長押しすると全ての電源が OFF になります。
- 強制出力も解除され全て OFF にすることができます。

充電方法

■この製品は 2 つの充電ポートがありどちらでも充電を行うことができますが、2 つの ポートは同時に充電を行うことはできません。同時に行った場合は DC 充電ポートが優先されます。



①付属の充電器を使う方法 (65W の DC 入力)

- 1) 充電器に付属のコードを差し込んでください。
- 2) 丸型コネクターを本体の DC 充電ポートに差し込みプラグを家庭用 100V コンセントに接続して充電を行ってください。
- 3) 充電中は青ランプが 1 個づつ点滅し、点灯してゆきます。
- 4) 充電が終了すると青ランプ 4 個が全て点灯します。
※ 0% から満充電までに約 7.5 時間かかります。

② USB の出力を充電に使う方法 (5 ～ 18W 入力)

- 1) USB 出力に USB ケーブルを差し込んでください。
- 2) USB ケーブルを本体の USB-C 充電ポートに差し込んでください。
- 3) 充電中は青ランプが 1 個づつ点滅し、点灯してゆきます。
- 4) 充電が終了すると青ランプ 4 個が全て点灯します。
※最大 18W の QC 規格の充電器に対応しています。
※パソコンや古いスマホの充電器は通常 5W となります。
※ 5W で充電した場合は満充電に約 100 時間かかります。
※ 18W で充電した場合は満充電に約 30 時間かかります。

LEDライトの使用方法

- 1) 本体のランプスイッチを押して青ランプを点灯させ電源を入れます。
- 2) 青ランプが点灯している状態でライトスイッチを 1 回押すと L E D ライトが点灯します。
- 3) その状態で更に 1 回押すと L E D ライトが点滅します。
- 4) その状態で更に 1 回押すと L E D ライトが SOS 信号点滅になります。
- 5) その状態で更に 1 回押すと L E D ライトが消灯します。
- 6) L E D ライトが消灯すると点灯している青ランプは 30 秒後に消灯します。
※ LED ランプは点灯→点滅→SOS →消灯の順で繰り返します。

バッテリーに接続した時の状態

■下記の表は本体の電源を入れずにプラス、マイナスクランプを車両のバッテリーへ接続した時の状態となります。使用前に確認しておいてください。

No	車両の電圧	12V/24V ランプ状態	本体の電源	始動
①	0 ～ 2V	点灯無し	OFF	NO
②	2 ～ 9V	12V 点滅→10秒→12V点灯(繰り返し)	ON 強制出力有	OK
③	9 ～ 15V	12V 点滅	ON	OK
④	15V ～	24V 点滅	ON	OK

■ No ②の時は接続して 10 秒後に 12V ランプが点灯し強制出力と点滅を繰り返します。→強制出力についてを参照してください。

車両のバッテリーが 2V 以下の時の注意

車両のバッテリーが 2V 以下の場合エンジンスタートの保証ができませんのでご了承ください。

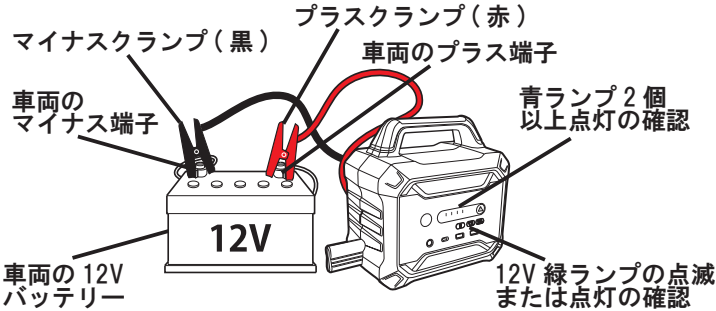
- 車両のバッテリーが 2V 以下の時は自動的にシステムは ON になりません。
- 車両のバッテリーが 2V 以下の場合、強制出力を行った場合に本体の電気が車両のバッテリーに吸収されて性能が出なかったり、また過電流になり本体にロックがかかる事が多々あります。
- 車両のバッテリーが通常の性能 (車両のバッテリーが 9V 以上の事) を発揮していないとエンジンをスタートさせない車両が一部ありますのでご注意ください。近年の車両 (その中でも特に輸入車が多く) については車両のバッテリーが 6V 以上無いとエンジンの再起動ができない車種が多々あります。

ジャンプスタート

- スタートさせる前に必ず取説の他の項目も良くお読みください。
- 青ランプが 2 個以上 (50% 以上) あることを確認しておいてください。

注意：このジャンプスターターは毎回「電源を入れずに」車両のバッテリーへクランプしてください。

1 2 V 車へのジャンプスタート方法



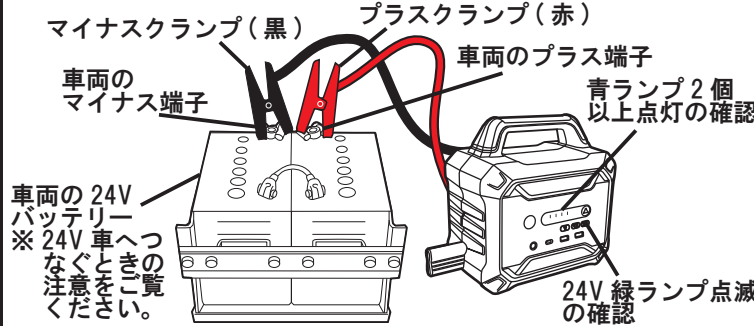
- 1) 電源を入れずに、ジャンプスターターのプラス、マイナスクランプを車両のバッテリーに接続してください。
- 2) 10 秒まって 12V 緑ランプが点滅または点灯して青ランプが 2 個以上あることを確認してください。→手順 3) へ

上記以外の状態のとき

→ LED ライトが何も点灯しないとき→ 12V スイッチを長押しし 12V 緑ランプを点灯させ強制出力を行って手順 3) へ進んでください。→「②何も表示しない時」と「車両のバッテリーが 2V 以下の時の注意」を参照し確認してください。

- 3) 車両のエンジンをスタートさせてください。
- 4) エンジンがスタートしたら直ぐにクランプをプラス側から外してください。
- 5) そのまま 30 秒経つと自然に本体の電源が切れるのを待つか、ライトスイッチを 5 秒間長押しして電源を OFF にしてください。

2 4 V 車へのジャンプスタート方法



- 1) 電源を入れずに、ジャンプスターターのプラス、マイナスクランプを車両のバッテリーに接続してください。
- 2) 10 秒まって 24V ランプが点滅し青ランプが 2 個以上あることを確認してください。→手順 3) へ

上記以外の状態のとき

→ 12V 緑ランプが点滅または点灯したとき→ 24V スイッチを長押し 24V 緑ランプを点灯させ強制出力を行って手順 3) へ進んでください。→「強制出力について」も参照してください。

→ 12V も 24V も緑ランプが何も点灯しないとき→ 24V スイッチを長押し 24V 緑ランプを点灯させ強制出力を行って手順 3) へ進んでください。→「②何も表示しない時」と「車両のバッテリーが 2V 以下の時の注意」を参照してください。

- 3) 車両のエンジンをスタートさせてください。
- 4) エンジンがスタートしたら直ぐにクランプをプラス側から外してください。
- 5) そのまま 30 秒経つと自然に本体の電源が切れるのを待つか、ライトスイッチを 5 秒間長押しして電源を OFF にしてください。

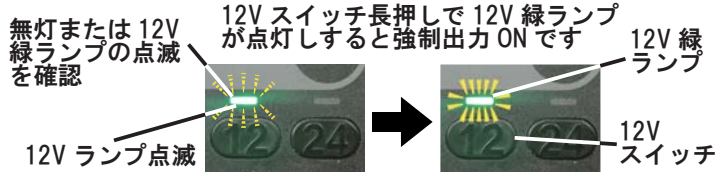
強制出力について

危険：強制出力を行うと常に高い電気が放出されている状態なので取り扱いには特に気を付けてください。取扱を怠ると破損または爆発し死亡する可能性があります。

・強制出力方法

- 1) 本体の電源がオンになっていることを確認してください。
- 2) 12V または 24V スイッチを長押しすると 12V 緑ランプまたは 24V 緑ランプが点灯します。
- 3) この状態が強制出力状態です。プラスクランプ、マイナスクランプには高い電圧が出力されている状態となります。
- 4) 30 秒経つと自動的に強制出力はオフになります。

● 12V の強制出力 (24V も同様です)

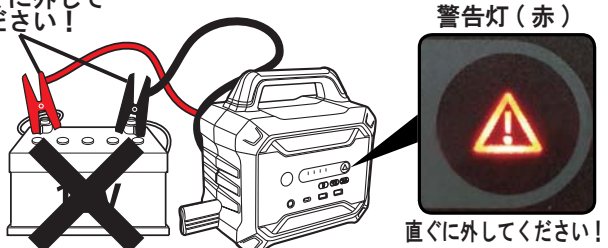


■前の項目で、クランプを接続した時 12V または 24V 緑ランプが点滅しない、またはスタートしない場合は、次に従ってジャンプスタートさせてください。

①警告ランプが点灯する

- 1) プラスマイナスを逆に接続しています。
- 2) 直ぐにクランプを外してやり直してください。

直ぐに外してください！



②何も表示しない時 (2V 以下の強制出力)

- 1) 車両のバッテリーが 2V 以下の時です。→車両のバッテリーが 2V 以下の項目も参照してください。
- 2) クランプのプラス、マイナスをもう一度確認してください。
- 3) 車両のバッテリーが 12V なのか 24V なのかもう一度間違いが無いか確認してください。
- 4) 車両のバッテリーに合わせて 12V または 24V スイッチを 2 秒間長押しして 12V または 24V ランプを点灯させてください。

危険：スイッチの押し間違え等で 12V 車に 24V を強制出力するとバッテリーが沸騰して破損または爆発し死亡する可能性があります。強制出力を行うときは何度も確認を行ってから行う様にしてください。

- 4) 30 秒以内にエンジンをスタートさせてください。
- 5) エンジンがスタートしたらクランプをプラス側から外してください。

③青ランプが 1 個以下の時

- 1) ジャンプスタートできるほどの電池残量がありません。
- 2) 充電してからジャンプさせてください。

④ 12V、24V が交互に点滅した場合

- 1) 間隔開けずにジャンプをしたり、ジャンプの回数が多すぎると安全装置が作動します。
- 2) 10 分間安全装置が働きの後使用できるようになります。

⑤ジャンプさせたら電源が入らなくなった

- 1) ジャンプスタートさせると外気温や使用方法によって急激に電圧降下が起こり本体の保護回路が働き電源が入らなくなる時があります。
- 2) 10 分ほどの放置または再充電を行うことで解除させることができます。故障ではありません。

エンジンスタートの注意

警告

以下の内容で故障、災害が起きても保証対象外なのでご注意ください。

■ クランプをはさむ時は面積を大きく取って下さい。面積が小さいと異常発熱が起こりクランプ、基板、バッテリーが破損します。※クランプは消耗品です。



くわえる面積が小さいと発熱し故障します。

面積を大きく取り発熱を抑えてください。

- 本製品は電源を入れずに車両のバッテリーへ接続してください。
- スタートは3秒以内で行い180秒休ませてから次のスタートを行ってください。3回連続でスタートさせて、エンジンがスタートしない時は他に原因があると思われるので使用を中止してください。
- インテリジェントシステム（安全装置）が搭載されている為、安全装置は常に働いていますが、セルを回すと制御しきれないほどの大きな電流が出力されるのでご注意ください。
- 本製品は車両のバッテリーへ接続する前に強制的に電気の出力を行う事が出来ます。しかし強制的に出力を行った状態でプラス、マイナスを繋ぎ間違えるケースが圧倒的に多いので万が一の緊急時以外は電源オフの状態直接車両のバッテリーへ接続してください。
- 強制的に電気を出力した場合は30秒でOFFになります。
- クランプの金属部分は緑色のランプが点灯している間は強い電気が流れています。ショート等十分に気を付けて作業を行ってください。

24V 車へつなぐときの注意

- 24V 車は特殊なケース以外をのぞいて12Vのバッテリーを2個つなげています。バッテリーターミナルへのバッテリークランプの接続は写真の様に接続してください。
- 車両によりバッテリーの配列やターミナルの接続はいろいろな種類があるので注意してください。



12Vバッテリー2個で24V 2個のバッテリーが繋がっているターミナルは絶対に使用しない

お手入れと保管

- 製品を使い終わったら乾いた綺麗な布で本体をふき取ってお手入れしてください。
- リチウムイオン電池製品は使用しなくても3か月に1度は満充電して保管しておくことで寿命を延ばす事ができます。
- 保管するときは日の当たらない風通しの良い処へ保管してください。
- リチウムイオン電池はサイクル寿命の他に年数寿命も一般的に伴います。定期的に充電を行い使用回数が少なかったとしてもリチウムイオン電池は2年程で消耗が始まります。

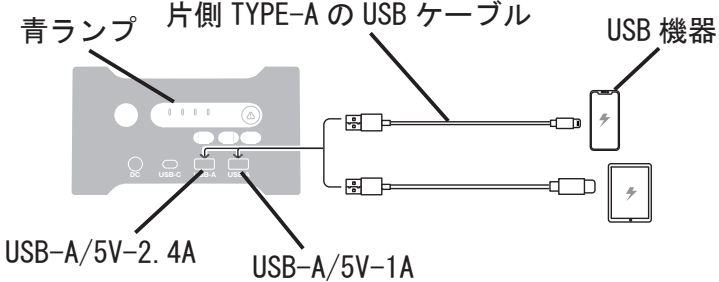
インテリジェントシステムについて

- インテリジェントシステムは逆接、過電流、過熱、感電、低温に加え新機能を備え、より安全な商品となっています。
- **新機能「ジャンプの時だけ電気を出力」**
 - ・車両のバッテリーへクランプの接続をした時に電気の出力は有りませんが、ジャンプして車両のセルモーターが回り始めると自動的に電気の出力を行いスタートを補助します。エンジンが始動すると電気の出力を止めて終了します。ジャンプ以外は出力が制御され更に危険を回避できます。

USB から給電

- 1) 本体のランプスイッチを押して青ランプを点灯させ電源を入れます。
- 2) 給電する用品にケーブルを差し込んでください。
- 3) 本体のUSB-A ポートに給電する用品のソケットを差し込んで給電してください。
- 4) 給電が終わると180秒後、自動的に青ランプが消灯し電源が切れます。

注意：向かって左側5V/2.4A、右側5V1A出力です。



技術的なお問い合わせ

使用方法で分から無い時や修理のご依頼は下記にご連絡下さい。
平日（土日祝、年末年始、お盆は対応していません）
受付時間 10時～12時、13時～15時、16時～17時
受付時間外は担当者が不在の為、対応できませんのでご了承ください。
株式会社ハチハチハウス 048-489-1888

スペック

寸法：295.5mm × 175.5mm × 245.4mm
重量：4500g
容量：58800mAh (217.56Wh)
クランプ出力：12V/24V エンジンスタート用
USB出力：5V/2.4A、5V/1A5A
入力：DC入力29V/5A(最大) USB-C入力5V/2.4A、9V/2A
付属充電器：29V/2A
充電：約3.6時間(0パーセントから)
ピーク電流：12V/3000A、24V/3000A
使用温度範囲：環境－40～60℃
バッテリー：三元系リチウムイオン
※諸元は、使用方法や環境によって変化する為、性能を永年保証するものではありません。

保証対象外のケース

- クランプの改造（長さ延長・社外品への交換）
- 本体を開けた形跡があるもの
- 本体を改造したもの
- クランプ（消耗品）の破損は保証対象外となります。
 - ・クランプが変形するような使用は本体内部が故障してしまうことがあります。クランプの変形、焦げ、溶けによる本体内部の部品の破損、バッテリーの破損は保証対象外となります。
 - ・クランプをはさむ時は面積を大きくとらないと発熱し溶けます。
- **外観の破損、可動部の破損は保証対象外となります。**
 - ・本体の外からの外圧による破損、掛け、割れは保証対象外となります。
 - ・クランプ、コード等の可動する部分は消耗品扱いです。
- 強制的に出力を行った状態でプラス、マイナスを間違えると本体は必ず故障します。逆接続での故障の保証は出来ませんのでご了承ください。
- 強制出力での逆接続時の安全保護機能は火災、爆発、破裂等、最悪の状態を作らない保護機能となっておりますが本体が故障しない為の保護機能ではありません。



クランプの爪の焦げ
※保証対象外



クランプが溶け爪が奥へ入る
※保証対象外

故障かなと思ったら

- **ジャンプさせたら電源が入らなくなった**
 - ジャンプスタートさせると外気温や使用方法によって急激に電圧降下が起こり、本体の保護回路が働き、電源が入らなくなる時があります。10分ほどの放置または再充電を行うことで解除させることができます。故障ではありません。
- **1年近く使用しジャンプの回数が減り弱くなった。**
 - 始動可能排気量や回数は新品のデーターによる目安です。電池は使用頻度や環境により劣化していきますので、これを永年保証するものではありません。
- **3～4年保管後、使用したらジャンプが弱い。**
 - 充電をせずに放置したり、環境により、使用しなくてもリチウムイオン電池には年数寿命がある為、故障ではありません。

ご注意ください！危険

以下の内容で使用した場合は本体が破損し死亡または障害が起こる事があります。十分に注意して取り扱いを行ってください。また以下の内容での故障は保証が受けられませんのでご了承ください。

⚠ 危険

- 高温環境下での保管（車内保管等）は、絶対に行わないでください。
※製品を水、湿気、熱、湯気、ほこり、油等の多い場所や高温環境下に保管すると火災、感電、故障の原因になり、器物等が破損し、重大な障害、または死亡する可能性があります。上記の場所での保管は絶対に行わないでください。
- **バッテリー残量が25%未満の場合はエンジンをスタートさせないでください。電池の容量が25%を下回ると電圧が急激に上がることで電池が異常に熱くなり、本体が破損します。**
※高温で破損した場合の保証は出来ませんので、ご了承ください。
※25%までのスタートはカバーできますが下回ってしまうと必ず故障します。余裕をみて50%以上でスタートしてください。
- **バッテリークランプをバッテリーの端子に挟むときは面積を大きく取ってください。**
※面積を大きくとらなかったり板のような部分に挟むとバッテリークランプが熱を持ったり火花が出たりし必ずバッテリークランプが変形します。バッテリークランプの変形や溶けに関しては保障できませんので、ご注意ください。
※クランプが変形するような使用をした場合は基板の部品が壊れたり電池が消耗する場合があります有り保証対象外になります。
- **バッテリークランプの+-の逆接続、バッテリークランプの接触は絶対に行わないでください。**
※逆接続は必ず故障するので絶対に行わないでください。
※+-の逆接を行うと安全装置が働き安全は確保されますが機器の故障を排除するものではありません。
※逆接した場合は放置せずすぐクランプを外して下さい。そのまま放置すると爆発するので迅速に対応してください。
- ※強制出力して逆接を行った場合本体が破損している可能性があります危険なので再使用せず弊社へ修理に出すか製品を破棄して下さい。
- **ジャンプでエンジンスタートさせる時のセルの長回しは、行わないでください。セルを回す時は、長くても3秒以内でやめ、180秒程本体を休ませてから、再度セルを回すように心掛けてください。**
- **セルの長回しを行うと、必ず本体が膨らみます。**
※セルの長回しを連続で行うと電池が熱を持ち必ず本体が膨らみます。また熱で回路を破損させてしまいます。この症状に関しては、原因が分かっているため保障できませんので、ご注意ください。特に夏場のセルの長回しは必ず本体が膨らむ為ご注意ください。
- **連続で3回セルを回してエンジンがスタートしない時は、使用を中止してください。**
※3回でエンジンがスタートしないときは、車両側に原因があると考えられます。車両側に原因がある状態で使用し続けると、本体が破損します。
- **本体が発熱している時の連続使用は行わないでください。様子を見ながら本体が十分に冷えたのを確認し使用してください。**
※連続で使用すると異常発熱が起こり本体が膨らんだり破損したりします。
- **スタート時にバッテリークランプを接続したままエンジンの空吹きを行うとケースにより電流が本体に流れて異常発熱する可能性があるため絶対に行わないでください。**
※異常発熱による破損、ボディーの溶け、膨らみは保証できませんので、ご注意ください。

⚠ 危険

- **エンジンをスタートした状態でジャンプスターターをバッテリーに接続したまま使用を続けしないでください。また走行もしないでください。**
※接続したままにすると大きな電流が本体に流れるため安全装置が破損しバッテリーが熱を持ち火災が起る可能性があります。
- ※接続したまままで走行するとバッテリークランプが振動ではずれ火災が起こります。
- **消耗しきっている車両のバッテリー（死んだバッテリー）に接続すると本体の電池の寿命が短くなる場合があります。**
※消耗しきっているバッテリーに接続すると本体の電気が車両のバッテリーへ急激にながれ本体が熱くなり製品の寿命が短くなります。また安全装置が働き作動しなくなる事もあります。
- ※仕事で消耗しきっているバッテリーへの接続が多い作業は確実に寿命は短くなります。
- **その他の注意**
 - 湿気や水がある場所での使用は避けてください。
 - 電池の改造、解体をしないでください。
 - 子供が触らない所に置いてください。
 - 製品を焼却炉に入れて燃やさない様に注意してください。
 - 製品に付属する充電器以外で充電しないでください。
 - 充電中の室内温度は0～45℃以内を守ってください。
 - 充電中に異常や故障かなと思ったら、販売店に連絡してください。
 - 製品の液体が目に入った時は、直ぐに水で洗って医者に相談してください。
 - 充電中や放置中に、製品が熱くなったり色が変わったりした時は、使用を中止して下さい。液体の漏れ、煙の発生、火災になる可能性があります。
 - 充電中は製品を燃えやすい物の上に置かない下さい。（ベッドやタオル等）
- **保証を受けるときは、この保証書が無いと受けられませんのでご注意ください。**

保証書

再発行

販売元

株式会社ハチハチハウス

〒352-0017 埼玉県新座市菅沢2-10-12